

2023 年を迎えて



日本脊椎脊髄病学会 理事長 波呂浩孝

謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。JSSR の会員の皆様方におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。一方で、勤務されている病院では COVID-19 感染症の第 8 波により、2020 年 1 月から開始された感染症対応が継続し、感染症用病棟の構築や入院患者制限、予定手術の延期、等の対応が必要になっている施設もあると存じます。感染症の対応にあたっていらっしゃる会員の皆様に敬意を表し、自らの健康に十分配慮されて診療を継続して頂きたいと思っております。現在、JSSR で推進しております主なプロジェクトについて以下にご説明をさせていただきます。

【JSSR-DB（日本脊椎脊髄病学会データベース）】

金村徳相理事長を中心に活動しています。2021 年度のデータベースは推定年間 14 万件で、登録施設は 701 となり、推定施設登録率は 77.8%に達しました。その後、データクレンジングを実施し、フィードバックを行いました。その後の修正は 50.1%となっております。2022 年度は 11 月 6 日時点で 61,193 件に達し、推定年間登録数は約 12 万件となっております。多くの会員から日々多忙な業務の中で粛々と症例をご登録いただいた大切なデータベースの使用法や、会員の皆様に使用いただく還元の方法について、検討を行ってまいります。また、施設登録を行っていない施設は是非手続きをお願いします。指導医や専門医の申請や研修施設の認定、などは今後登録いただいたデータを使用します。

【脊椎脊髄外科専門医】

中村雅也副理事長を中心に活動しています。1) 専門医試験問題集の発刊と改訂、2) 専門医試験の実施、3) 研修施設の要件策定と認定、4) 研修カリキュラムの策定など、の業務を行っています。脊椎脊髄外科専門医制度は 2022 年に日本専門医機構から正式にサブスペシャリティ領域の専門医として承認されました。よって、本専門医は今後、広告ができるようになります。直近では第 16 回脊椎脊髄外科専門医試験は 2022 年 11 月 18 日に実施され、これまでに 1,978 名が合格されました。脊椎脊髄外科指導医の会員で専門医試験を未受験の方は約 300 名程度いらっしゃいます。現在暫定的に行われている脊椎脊髄外科指導医からの専門医への移行措置は、2024 年度末をもって終了となります。是非、2023 年度実施される試験を早めに受験いただきたく存じます。また、初回に取得された専門医は 2023 年 9 月末で認定期間の満了を迎えるため更新が必要となります。その更新の手続きも今後周知いたします。

【脊椎関連学会連携促進：Spine Week Japan 2025 開催に向けての取り組み】

大鳥精司理事を中心に活動しています。2024年から開始される医師の働き方改革や学会運営の経費の問題、などから複数の脊椎関連学会の開催について運営の検討が必要というご意見をいただきました。そこで、2021年度にJSSR会員に対して学術集会の同時開催についてのアンケートを実施して、約1,500名から回答いただきました。結果は、学会の数が多いという会員が83%でした。また、JSSR学術集会は従来通り春に実施し、ほかの脊椎関連学会を秋に同時に開催する意見が多数でした。そこで、日本側彎症学会、日本脊椎インストゥルメンテーション学会、日本低侵襲脊椎外科学会、最小侵襲脊椎治療学会、日本脊椎前方側方進入手術学会、日本成人脊柱変形学会、の6学会と協議を行い、2025年10月30日から11月1日の3日間の日程でSpine Week Japan 2025として学術集会を共同開催する取り組みが決定しました。今後開催に向けて準備を進めていきます。

【海外学会との連携促進】

伊東学理事を中心に活動しています。本年は5月1日から5日まで豪州メルボルンでSpine Week 2023が開催され、JSSRも5月3日にプログラムを用意しています。是非、ご参加いただきたいと思います。また、台湾脊椎外科医学会(TWSS)や韓国脊椎外科学会(KSSS)などの海外学会との連携をさらに促進していきます。さらに、COVID-19感染症のために中断しているアジアトラベリングフェローなどのプログラムも再開に向けて、交渉を開始しました。

【JSSR50周年記念誌の発刊】

永島英樹理事を中心に活動をしています。ヒストリアン委員会を新規に設置し、伝統ある本学会のこれまでの軌跡を確認し、JSSRに関連した貴重な資料の収集を行います。この資料を基に、記念誌の発刊を行います。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

【診療ガイドラインと関連したプロジェクト研究の開始】

橋爪洋理事を中心に活動しています。脊椎疾患に関連した診療ガイドラインが5分野あり、明確な推奨ができないclinical questionがあります。これに対して、専門家集団によるプロジェクト研究を実施し、エビデンスを明らかにして、評価が高い、会員に使用いただける診療ガイドラインの作成に繋がります。

【最後に】

紹介できなかった委員会を含めて計22の委員会が活動し、理事会は毎月開催しております。最近、脊髄モニタリング委員会を設置しました。本年も活動をさらに促進し、脊椎脊髄病学の発展と推進を行い、ならびに安全かつ高度、先端医療を患者さんにお届けし安心して医療を受けていただける環境を構築します。JSSR会員の皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

最後に、会員の先生方のご健勝とご発展を祈念いたします。